

【1】次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。
猫はA唯物主義だと云われている。

その説によれば、猫は飼主に属するよりも、より多く飼家に属するそうである。飼主の人間どもが転居する時、猫はそれに従って新居に落付くことなく、旧家に戻りたがる。それが空家になっていようと、或は新しい人間どもが住んでいようと、そんなことにはB頓着なく、旧家に住み続けたがる。だから、三日飼われてその恩を三年忘れない犬と反対に、猫は三年飼われてその恩を三日にして忘れる。云いかえれば、三年飼われてその家を三日にして忘れる犬と反対に、猫は三日飼われてその家を三年忘れないとか。

十年ほど以前のこと、私の家に、一匹の若い猫がはいりこんできた。追つても逃げない。外へ出してもまたはいって来る。見知らぬ私たちに、喉を鳴らしながら甘ったれる。平気で物を食い、泰然と居眠る。凶々しいC呑気なD闖入者だ。私たちはその家にもう五六十年住んでいたし、猫は生後一年とはたたない若さだったので、猫が、私たちには勿論、家にもE馴染がなかったのは明かである。それでも当然自分の家だというように腰を落付けている。その様子、F私たちよりも、粗末な家だが、家が気に入ったものらしい。

頭と背が赤茶地に黒線の虎斑の、頸から腹や足先にかけて白い、尾の短い、普通の牝猫だったが、私たちはそのまま飼いつづけた。二年ばかり後、私たちは他の家に移転した。四五町しか距つていない家だったので、猫が旧家に逃げ戻りはしないかと、飼えば愛情が出て、少々心配した。だが何のこともなかった。目隠しもせず、ただ抱いて来ただけで、繋ぎとめる必要もなく、私たちと一緒に、当然だという顔付で、新しい家に落付いてしまった。家によりもより多く飼主に馴染んでいるのだ。

其後この猫、年に一二回妊娠をするし、分娩の時の世話やら、生れた仔猫の貰われ口など、随分心配をかけるが、それだけにまた家庭生活の中に根を下して、すっかり家族の一員となってしまった。小学校に通う子供三人が、円陣を作って遊んでいると、猫はその真中にはいつて蹲る。子供の一人が勉強を初めると、その机の上うすくまに坐りこむ。「猫が、お遊びの・・・勉強の・・・邪魔をする、」というのが子供たちの始終の苦情だ。②、寝る時には、各自に自分の布団の中へ猫を奪い合う。夏休みなど、家族中で旅をするような時、その不在中、猫がとても淋しそうだったと、留守居の者の話。旅から帰つてくると、猫の嬉しがりようつたらない。身体をすりつけてくる。背中にとび乗る。頬辺をなめる・・・。

この猫、案外、唯物主義者でない、と私は思ったのである。ところが、昨年の夏、知人の家に、尾の長い純白の牡の仔猫が出来たので、貰う約束をして、生後二カ月ばかりして連れてきた。私はかねがね、純白かF漆黒かの尾の長い男猫を求めていたので、その願いの半分だけかなったわけだ。

それはよいが、そこで、思いがけない障碍にぶつかつた。貰つて来た仔猫に、家の猫がなかなか親しまない。仔猫の方はさすがに無頓着で、時々実の親と間違えてか、なつかしうに寄つてゆくこと

もあるが、親猫はすぐに、睥みすえ唸り声を出し、場合には引掻いたりする。それを私は互に馴れさせようとして、二匹一緒に膝の上に抱くが、そうなると仔猫までおじけて、二匹とも不安そうに身体をすくめ、首を縮め、時々低い唸り声を立て、はては膝から飛び出してしまふ。そして室の別々の隅に蹲る。そんな状態が二週間ばかり続いた。ただ、食事の時いがみ合うことは殆んどなかった。

今になって考えると、親猫の方が馴染まなかったのは、妊娠していたせいだったらしい。胴のつまつた毛並の艶やかな、見たところ若々しい様子ではあるが、もう生後十年余りになる老年で、歯数も少なくなっているし、「もう子供は産みませまい、」とその春注徴志しの時に医者も云っていた。それが久しぶりに妊娠していたのだ。

白の仔猫が来て、半月ばかりたった時、家の猫は二匹子を生んだ。老年のせいか、子は発育が悪く、生れてすぐに死んだ。

そして中一日置いた早朝、私は子供たちから騒々しく呼び起された。子供たちについて行つて見ると、不思議だ。親猫が白の仔猫を抱いて乳をのましている。今まであれほど反感を持つてたらしいのが、がらりと變つて、如何にも愛撫するように抱きかかえているし、仔猫の方でも、喉をならしながら乳房にすがっている。一夜のうち、どちらから先にそうなつたのか分らないが、今ではもう、全く実の親子同様になっている。

そればかりでない。其後の親猫の態度は、云わばヒステリーの愛撫そのものになつてしまった。仔猫の姿が一寸でも見えないと、方々駆け廻つて鳴き立てる。仔猫が庭の木に登つたり家根に上つたりすると、警戒の声を立てて呼び寄せる。仔猫が危い垣根の上などに登ると、飛んでいって、銜えてくる。もう大きな子供を、婆さんが口に銜えて連れてくる。その方が実はよほど危いのだ。仔猫にはまたそれが面白いと見えて、なかなか親猫の云うことを聞かない。親猫は益々ヒステリーになる。はては二匹で盛んにふざけちらす。それにも疲れると、日向に寝ころんでなめ合う。入浴の後には、濡れた毛を互になめ合い、寄り添つて身体を温め合う。

そういう親猫の態度から判断すると、生後二カ月半もたったその仔猫を、全く生れたばかりのもののように考えてるらしい。③而も自分の腹から生れたもののように考えてるらしい。ただ、とんでもない大きな子供が生れた、ということだけは考えないらしい。なお云えば、親猫には、子が死んだ後も母性愛が残っていて、その愛がこの仔猫を対象に選んだらしい。対象そのものが、自分の子か、他人の子か、小さいか大きいかが、そんなことには無頓着で、母性愛はただ、本来の自然の働きを働いていったらしい。

対象を無視するそういう母性愛は、広い意味で、極端に④的である。或る種の吝嗇けちは、遂には黄金G崇拜となる。或る種の名誉心は、遂にはH勳章崇拜となる。或る種の色欲は、遂には肉体渴仰となる。種々の感情や欲望も、極端に詮じつめれば、単なる唯物主義になることが多い。私の家の猫の母性愛は、自己満足だけで満足するほど唯物主義的になつたが、猫の身の悲しい哉、人形愛撫にまでは墮しなかつた。——其後、仔猫はI些細なことで病死した。親猫

の悲歎は見るも憐れだった。がそれに対して私は、猫の子の人形を与えてやる「術」を知らなかったのである。

尾の長い純白の男猫と尾の長い漆黒の男猫とを、私はいずれ飼いたいと思っているが、それまでの間、^⑥「婆さんの猫」は一人淋しそうだ。ひどく人なつこくて、飼家によりも飼主に属しており、而も心理的には更に唯物主義的なのが、怪しく私の心を惹く。

(豊島与志雄『猫』)

注 微恙：びよう(軽い病気)

問一. 傍線部 A～J の漢字の読みをひらがなで答えなさい。

問二. 一般的に猫が唯物主義であるといわれる理由として正しいと思われるものを次の中から選び記号で答えなさい。

- ア 飼主に属するよりも、飼家に属するから
- イ 三日飼われると三年その恩を忘れないから
- ウ 母性愛を持っているから
- エ 飼家によりも、飼いに属しているから

問三. 傍線部①「私たちよりも」は、次のどの言葉を修飾しているか、記号で答えなさい。

ア粗末な家だが、イ家が、ウ氣に入った、エものらしい。

問四. 本文中②に入れることばとして、一番適当と思われるものを次の中から選びなさい。

- そして そのうち そのくせ それから それゆえ

問五. 傍線部③「而も」の読み方を次の中から選びなさい。

- これも それも そもそも しかも またも

問六. 本文中④に入れることばとして、適当と思われるものを本文中から選びなさい。

問七. 傍線部⑤「婆さんの猫」の容姿等を40文字程度で記述している部分を本文中から抜き出し、その最初と最後の5文字ずつを書きなさい。

【2】次のカタカナの部分に漢字で答えなさい。

- ① 議論がフンキュウする
- ② シモン機関を設ける
- ③ 経費をサクゲンする
- ④ 遭難がケネンされる
- ⑤ イサギヨクあやまる

【3】次の() に漢字を入れて、四字熟語を完成させなさい。

- ① () 里霧中
- ② 十人十()
- ③ 七() 八起
- ④ 一網打()
- ⑤ 百戦() 磨

【4】例にならって①～⑤の意味になるように、「鼻」を使った慣用句を書きなさい。(ひらがなでも可)

例 相手をばかにして笑う || 鼻で笑う

- ① 嫌味な感じがする 飽きて嫌になる
- ② 得意がる 自慢する
- ③ 相手を出し抜いてあつと言わせる
- ④ 相手の慢心をくじく
- ⑤ 無視して相手にしない

【5】次の作品の著者を解答群から選び記号で答えなさい。

- ① しろばんば ② 羅生門 ③ 人間失格
- ④ 金閣寺 ⑤ 雪国

〈解答群〉

- ア. 芥川龍之介 イ. 川端康成 ウ. 太宰治
- エ. 三島由紀夫 オ. 井上靖 カ. 大江健三郎

【6】次の敬語に関する表の①～⑤を埋めなさい。

普通の語	尊敬語	謙讓語
言う 話す	①	②
見る	③	④
⑤	なさる	いたす